

北上市がん対策基金活用事業

—— がんとともに生きる環境づくりを目指して ——

現在、日本人の約2人に1人ががんにかかり、約3人に1人はがんで亡くなっています。北上市でも死因の第1位となっており、がんは誰でもかかりうる身近な病気です。しかし、近年は医療の進歩や検診による早期発見などにより、がんを治療しながら働く人も増えてきています。

市は、平成6年から自治体として全国初の「緩和ケア支援事業」を立ち上げ、がん患者の皆さんをサポートしてきました。近年は「がんとともに生きる」社会への変化に合わせ、事業内容を見直しながら、がん予防、そしてがん患者の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活・療養できる環境づくりに努めています。

北上市がん対策基金とは

市がん対策基金活用事業連絡会が検討しています。

北上市がん対策基金活用事業

① 頭髪・乳房補正具の購入費用の一部助成

昭和56年、ご家族をがんで亡くされた一人の市民から、がん対策のために100万円が寄附されました。このことがきっかけで、「北上市がん対策基金」が設立。現在、皆さまから寄せられた寄附を積み立てた同基金を活用し、さまざまな支援事業を行っています。

事業内容は、寄附者で構成する市民団体「北上市がん対策基金活用事業協力会」と、医療・介護関係者や家族会、患者会などで構成する「北上

※頭髪補正具とは、医療用または美容用のウィッグ（かつら）のことです。また、乳房補正具とは、乳がん術後の補正下着や、マンマ（補正パッド）のことです。

※頭髪補正具とは、医療用または美容用のウィッグ（かつら）のことです。また、乳房補正具とは、乳がん術後の補正下着や、マンマ（補正パッド）のことです。

助成額：経費の9割（頭髪補正具の限度額は3万円、乳房補正具の限度額は2万円）

申請：購入の領収書の発行日から6カ月以内に、病名および治療方法が分かる書類（医師の証明書など）と領収書など経費の内訳が分かるものを添えて同課へ

※手続きについては、病院の相談室や同課に相談してください。

～利用者の声～

頭髪補正具購入費用の一部助成を受けたKさん(50代女性・常盤台)



●助成を受けるまでの経緯

市のがん検診を受け、がんが見つかりました。治療の影響で頭髪が抜けてしまい、ウィッグを購入しました。その後、美容院で市の事業を知ってすぐに申請し、購入費7万円のうち3万円を助成してもらいました。

●同じ悩みを持つ人へ

はじめは、治療費などを考えて途方に暮れていましたが、市の事業を知り、実際に助成を受けて一気に目の前が開けた気がします。病気になると落ち込みがちですが、気持ちを切り替えて前向きに行動しないと変われません。私のように悩んでいる人も、前向きになるきっかけとしてこの事業を利用してほしいです。

問い合わせ

健康増進課

☎ 72-8296

②緩和ケア用品の購入・レンタル費用の一部助成

がんにより自宅で療養する際に使用する、緩和ケア用品の購入・レンタル費用の一部を助成しています。

※緩和ケア用品とは、ベッドやマットレスなどの介護用品と、吸入器などの医療用品のことです。該当する用品は、市のホームページに掲載しています。

対象：市内に住所があり、医



平成29年度北上市がん対策基金活用事業協力会・北上市がん対策基金活用事業連絡会合同会議に出席した皆さん

師から緩和ケア用品が必要と認められた人
助成する経費：年齢により異なります。

【40歳未満の人】

介護用品と医療用品の購入またはレンタル費用

【40歳以上の人】

医療用品のレンタル費用

助成額：経費の9割(限度額3万円/月)

申請：購入・レンタルの領収書の発行日から6カ月以内に、医師の意見書と購入・レンタルの領収書など経費の内訳が分かるものを添えて同課へ

※手続きについては、病院の相談室やケアマネジャー、同課に相談してください。

③緩和ケア支援事業ボランティア派遣

がんにより自宅で療養している人とその家族を支援するため、市主催の緩和ケア支援事業ボランティア養成講座を修了したボランティアを自宅に派遣しています。

対象：がんにより自宅で療養している人およびその家族

※介護保険サービスを利用している人も利用できます。

利用料：無料

内容：話し相手、散歩の付き

添い、買い物、留守番(見守り)など

申請：同課へ

④その他の事業

その他の主な事業は次のとおりです。

○市民団体への補助

がん患者の会、がん家族の会の活動費を補助しています。

○北上市緩和ケアハンドブックの作成・配布

自分や家族ががんになったときに役立つ情報を掲載しているハンドブックを配布しています。

○がん検診初年度無料化

市が行うがん検診を初めて受ける際の受診料を無料にしています。

○市民向け講演会の開催

がんに関する知識を普及するための講演会を、2年に1回開催しています。

基金への寄附は

随時受け付けています。詳しくは同課へお問い合わせください。

課へお問い合わせ

ください。

～緩和ケア支援ボランティアから
自宅でがんの療養をしている皆さんへ～



北上市緩和ケア支援事業
ボランティア会 会長
松岡幸子さん



同会 副会長
小原節子さん

がんにより自宅で療養している皆さんのお宅に伺い、買い物や散歩、留守番などのお手伝いをします。話をするだけで気が楽になることもあると思いますので、気軽にご利用ください。

また、伺う日や時間なども、利用する皆さんの希望に沿って決められます。困ったことがあれば、まずは健康増進課にご連絡ください。

～29年度がん対策基金活用事業～
市民講演会開催！

産業医科大学の大和 浩 教授をお迎えし、受動喫煙の問題やたばこががん対策について講話いただきます。参加費は無料です。ぜひご参加ください。

とき 9月8日(金)18:20～20:00
(受け付けは18:00～)

ところ さくらホール中ホール

申し込み 9月5日(火)までに健康増進課へ

あなたの肺、元気ですか～!!
～受動喫煙防止でがん対策を
すすめよう～



大和浩教授